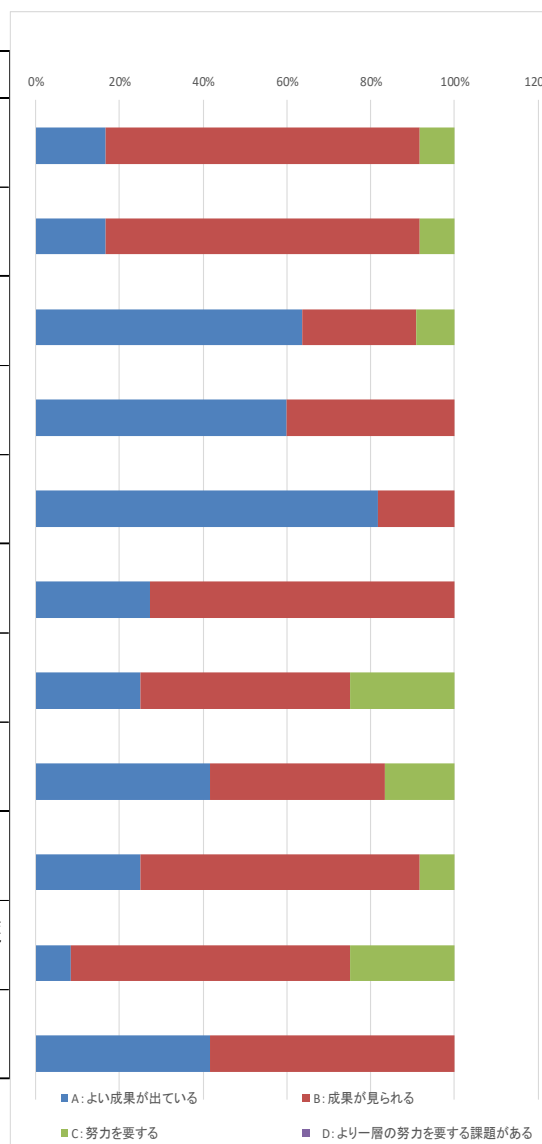


令和5年度さくらがおかこども園 学校評価結果

項目	評価の観点
こども園経営	1 本園の教育目標について保護者や外部に向けて、わかりやすく説明できている。
	2 全職員が方針を共通理解し、協力して意欲的に教育保育にあたっている。
教育活動	1 心身ともにたくましく、自己を発揮でき、友達と仲良くできるような遊びが思い切りできることを大切に実践や研究保育に励んでいる。
	2 子どもたちが自分なりの思いをもって自分から物事に取り組み、最後まで頑張れるように、指導計画を工夫し、実践している。
	3 挨拶や生活習慣を身につけ、豊かで美しい心をもった子どもに育つよう工夫や改善に努めている。
教育環境	1 教育目標を実現するためにふさわしい環境を整えている。(興味を引き出す環境・園庭の自然環境や栽培・興味に合った教材教具など)
	2 幼児の健康と安全が守れるよう健康管理や危機管理に取り組んでいる。(避難訓練の実施・事故発生時の対応・体調管理)
	3 幼児が生活するのにふさわしい場として施設を整えている(園舎・トイレ・通路など)
家庭・地域との連携	1 家庭や地域の方と連携して「共に育つこども園」を実践している。
	2 みどりの会、ひよこ教室、マザースクールなどを実施し、保護者同士が育ち合う場をつくっている。
	3 園からの様々な発信(通信・HP)や懇談会・参観・親子活動などの機会は保護者の子育てに有意義なものとなっている。



《次年度に向けての改善計画》

- 子どもたちが挨拶や基本的な生活習慣の確立、主体的な活動を身につけるため、毎月の目標を掲示するなど全職員が共通理解をして取り組んだ。今後子どもたちへの日常的でいい取り組みをしていきたい
- コロナ対策が緩和され、保護者参加の行事を実施することができ、保育の様子を見たり触れたりしていただくことの大切さを再確認した。保護者や地域の方々との連携の場を工夫するとともに、発信方法の充実を図りたい。
- 教員が個々の力を発揮し工夫して教育活動を実践しているが、さらに日々の実践を反省し、子どもの遊びの状況をしっかりとらえ深めるための指導計画や研究、研修に力を入れたい。
- 子どもの興味を引き出し、遊びを広げ、深める教育環境づくりや、栽培活動や散歩、探検など自然に向き合える取り組みを大切にしたい。また、子どもたちの安心安全な生活のための環境整備や避難訓練など、より一層取り組みを充実していきたい。